

< もくじ >	
1. 本年度連続講座第3回の概要と受付のお知らせ	1
2. 那須合宿(2014.10.4~5)報告	2
3. 研究会からのお知らせ	3

1. 本年度連続講座第3回の概要と受付のお知らせ

本年度連続講座『人生100年時代 ~明るく、元気に、健やかに』

第3回講座の概要をお知らせいたします。お申し込みをお待ちしております。

◆第3回講座は、**2014年11月29日(土)開催**です。◆

講演テーマ：「NNKからPPKへ」

講師：星 旦二(首都大学東京・都市システム科学域・教授、当学会会員)

(講演要旨)

健康長寿とは、要介護状況にならずに天寿を全うすることである。健康長寿のためには、早世を予防することが前提ですが、この早世予防と健康長寿を維持していくことを我が国の目標としたのが、健康日本21である。

早世予防と、健康長寿をめざすことは高齢者にとっては、PPK(ピンピンコロリ)として知られている。一方、長寿であっても要介護状態のままに最期を迎えることを、NNK(ネンネンコロリ)とよんでいる。我が国は、特に女性は最高長寿国ですが、要介護割合が多くNNK長寿国であり、健康長寿の実現が大きな課題である。今回は、PPKの方策について話題提供したい。

※その他各回については既にお送りしましたチラシかホームページをご参照ください。

1) 場 所 : 東京銀座・資生堂 9Fホール

2) 開催要領: 各回とも、14時~16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円。

※お申し込みは、① **氏名**、② **参加の講座**、③ **連絡先**を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※各回参加費は、当日、会場にてお支払いください。

※今後とも各回ごとにJAAS Newsなどで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。(事務局担当 鈴木)

◇連続講座第1回参加者の感想(アンケート回答より抜粋)

< 第1回講座「人生100年丸の出航」 講師：樋口恵子 >

感想1 全体講演の時間が短いように思いました。お話は楽しいものでしたが、みっちり2時間のお話がほしかった。

感想2 長生きの要点は動けること。歩くことが大切と思った。女性の長生きも動けること、大切と痛感した。

感想3 新しい言葉を作り出す先生が好きです。話術に引っ張られます。人生100年時代への船出、友人にも勧めます。

感想4 先生のお使いになる言葉の表現が面白く、難しそうなお話も楽しくお聞きしました。

2. 那須合宿 (2014.10.4~5) 報告

運営委員会では、15周年となる来年度の大会テーマについての議論とともに、一度合宿を行って、異なる研究会に所属している会員間の親睦を深め、共通のテーマを決めて問題提起と意見交換を行うような機会を持つことが提案されました。7月の運営委員会でその第一回の試みとして企画されたのが、今回の那須合宿です。合宿先は、「ゆいま〜る那須」というサービス付き高齢者施設です。そこで宿泊体験しながら見学し、統一テーマで議論をするというアイデアから決定されました。

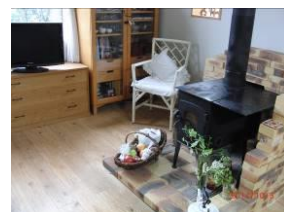
(1) 「ゆいま〜る那須」の概要

栃木県那須町「ゆいま〜る那須」は、東北新幹線新白河からタクシーで15分、東北自動車道だと白河ICから車で10分の別荘地域にあります。それは、(一般社団法人)コミュニティネットワーク協会(会長:袖井孝子)の「一緒に住む人たちとともに働き、親しく豊かで自由な生活を送り、老いが進むにつれて手厚いサービスを受けられ、看取りや身辺整理も託せるようなコミュニティづくり」を理念に掲げ、それを実現するために、(株)コミュニティネット(代表:高橋英興)が、2007年に1年かけて調査し、2008年より希望する住民とともに企画・開発、独特のコミュニティをつくりあげてきた共同施設です。



緑豊かで緩やかな丘陵をそのまま利用して建てられた70戸の1、2階建ての木造個別住宅が、菜園や花壇が中心に設けられた5つのユニット群に分かれて配置され、共同の食堂、図書室、音楽室、介護サービス施設などが併設されています。また、参加者が出資し、事業の進め方について意見を述べ、全員で決定していく「ワーカーズコレプティブ」の形をとっています。つまり、事業部があり、運営部門、配食部門、物販

部門、菓子・保存食部門に分かれて、そこで事業を企画し、居住者自身が働くことができるもので、働いた分のサービスを受けられるコミュニティ通貨「ま〜る」が使える仕組みがあります。また、そこで草むしりや掃除など無償の仕事もありますが、それらは決してボランティアとは呼ばず、自分たちにとって必要な仕事を自分たちですするという意識に支



えられているそうです。さらに、近くに牧場を持ち、そこで放牧されたジャージー牛の乳は、つねに同じ味ではないところが特色で、アイスクリーム、ヨーグルト、チーズなどの製品をつくり販売しています。



入居者への単なる施設とサービスの提供ではなく、最初から入居した人たちが、スタッフとともに意見交換し、試行錯誤を重ねながら築き上げてきたコミュニティの一つの成功例であり、まったく問題がないわけではありませんが、今後も見守っていく必要のある優良施設の一つであると思われます。

(2) 合宿先での行動

第1日目(10月4日・土)は、東京駅丸の内側にチャーターしたバスに11名が乗り込み15:00に出発し、車や新幹線など別ルートで到着していた2名と、18:00過ぎに「ゆいま〜る那須」食堂で合流。「ゆいま〜る那須」に住み込んで、居住者と一緒にコミュニティづくりに励んできたコミュニティネットワーク協会理事長の近山恵子さんに、本施設についての



説明を受けました。その後、各自の宿泊室に荷物を置いて、近隣で調達された野菜、鮭、いなりずしの夕食を済ませ、19時過ぎに車で約20分で行ける温泉「那須山」でゆったりと過ごした後、帰宿。ほぼ22:00から23:30近くまで、各自持ち寄った酒とつまみで、懇親会。本田重道さん自家製の、鳥、チーズ、さつま揚げの燻製に舌鼓を打ち、それぞれの話題に花を咲かせました。



二日目(10月5日・日)は、かなりの人が早朝から起きて付近を散歩、8:00に朝食を済ませ、9:30から音楽室で、「人生の最終段階にどう備えるか～住まい、終末期医療、葬儀・墓」というテーマでワークショップ。①「住まい」(近山恵子:コミュニティネットワーク協会理事長)、②「終末期医療」(シニア社会学会会長:袖井孝子)、③「葬儀・墓」(シニア社会学会理事:荒井浩道)というテーマで、30分ずつお話いただき、特別コメンテーターとして、東京女子医大内科医:渡辺敏恵医師に、「エンディングノート」の個人的・社会的意義についてお話をいただきました。総合司会は、澤岡詩野さん(当学会理事)にお願いしました。会場からの質疑応答を含め、自己決定、自己責任が強く求められる現代社会における、住まいの選択、終末期において本人の自己決定が困難になる状況での家族や医療従事者の抱える問題、葬儀や墓に関する選択肢の多様化と遺族の抱える問題などについて、活発な議論が行われ、問題の深刻さについての認識と問題点の共有が図られたように思います。その後、昼食をとって牧場周辺を散策、カフェで乳製品を味わいました。巨大台風17号の接近で雨脚が強くなる中、何とか無事に18:00過ぎに東京駅に戻ることができました。



(3) 成果と今後の課題

このような自然に囲まれた合宿所で、会員同士が懇親を図りながら、共通のテーマについて話し合う機会を持てたことは、試みとして十分意義のあることであったと思われます。残念なのは、自らの選択で住まいを決め、共同作業を通じて豊かな居住空間を生み出してきた居住者と交流する機会が持てなかったことです。もちろん時間的な制約がありましたし、ワークショップでも十分に議論を深められたわけではありませんが、これまでの学会の歩みを振り返り、これからの学会のあり方を考え、具体的課題を实践していく試みの第一歩として位置づけていくことができればよいと思います。



参加者は、総勢15名(男性11名、女性4名)でした。

(長田 記)

3. 研究会からのお知らせ

(1) 「シニアのICT活用研究会」第17回開催のご案内

10月の研究会を以下の要領で開催します。

会員に限らず、本テーマに関心をもつ産官学民の方、どなたの参加も大歓迎です。

1) 日時: 2014年10月20日(月) 17:00~19:00

2) 場所: (公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室

新宿区新宿1丁目34番5号 直田ビル3階

3) 話題提起者: 森やす子氏(株)情報環境デザイン研究所主席研究員、当学会理事)

4) テーマ: 熊谷市における高齢者宅の住環境把握と見守りについて

5) 参加費: 500円

※参加のご連絡およびご質問については、澤岡 sawaoka@dia.or.jp (@は、半角にしてメール送信ください) までご連絡ください。

(2) 第18回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2014年10月24日(金) 18:30~20:30
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館 第7会議室
- 3) 報告者：坂田正顕氏(シニア社会学会会員、早稲田大学名誉教授)
- 4) タイトル：「災害史から見た浪江町における災害死を巡る諸問題」(仮)
- 5) 参加費：500円(学生は無料、ただし社会人入学者を除く)

※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原(fukuhara@jaas.jp)迄お寄せ下さい。
「災害と地域社会」研究会2013年度報告書を、シニア社会学会ホームページに掲載しました。
(<http://www.jaas.jp/seika/saigaitotikishakai2013.pdf>)

(3) 第13回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2014年10月27日(月) 16:30~19:00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長の総括講義
＜タイトル＞：『コミュニティとは何かと問いかけることの現代的意義(パートII)』
- 4) 参加費：300円

※お問い合わせは、事務局・島村までお願いします。

(4) 社会保障研究会からのお知らせ

10月は会場としてお借りしています高齢者生活協同組合連合会(団体会員)のオフィスが移転の為、休会となります。次回開催は11月13日(木)です。

(5) 第81回社会保障研究会のお知らせ

- 1) 日 時：2014年11月13日(木) 18:00~20:00
- 2) 報告者：澤岡詩野氏(ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員)
- 3) テーマ：「地域福祉における高齢ボランティアの役割 ―イギリス・オランダ調査から―」
- 4) 会 場：**高齢者生活協同組合 会議室(会場が変わりましたので、ご注意ください)**
東池袋1-44-3 池袋I SPタマビル 7・8階 会議室は8階になります。

※池袋駅東口北徒歩6分(パルク側口を出て、線路に沿って進む)

(6) 第7回ガバナンス研究会のお知らせ

- 1) 日 時：2014年11月30日(日) 18:00~20:00
- 2) 発言者：川村匡由氏(社会保障学者・武蔵野大学大学院教授)
- 3) 内 容：「地域福祉とガバナンス」
- 4) テキスト：「地域福祉とガバナンス」川村匡由著
- 5) 申込み：地域サロン「びらっと」(境3-12-10)

※お問い合わせ、参加申し込みは、Kawamura0515@yahoo.co.jp まで。

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX:(03)5778-4728
eメール:jaas@circus.ocn.ne.jp URL:<http://www.jaas.jp/>